

# 農作物技術情報 第2号 野生獣対策

発行日 令和8年4月23日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用  
二次元コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコン、携帯電話から「<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>」

- ◆ **クマ人身被害防止** 県内ではクマの人身被害が発生しています。農作業の際には、クマの出没に警戒しましょう。
- ◆ **基本対策** 優先順位は、よせつけない → まもる → とる
- ◆ **生息環境管理** 春のうちに藪は刈り払い、放任果樹等も除去しましょう。
- ◆ **侵入防止対策** 「電気柵」は「心理柵」。効果的に設置しましょう。
- ◆ **クマ出没状況アプリ** 農作物及び人身被害対策のため「Bears」を活用しましょう。

## ○ クマ人身被害防止

- ・ クマの出没情報は常に確認しつつ、出没の可能性がある場合には、複数人で行動します。
- ・ 鈴やホイッスル等音の鳴るグッズを用いるほか、人間の声などで、クマに対して人間の存在をアピールします。
- ・ 撃退スプレーを携帯できる場合には、事前にロックを外す練習もしておきます。
- ・ 顔面や頭部の損傷程度を軽減させるためにもヘルメットの着用は有効です。
- ・ また、至近距離でクマと突発的に遭遇し、攻撃を受けそうになった場合は、首の後ろで両手を組んで、うつ伏せになったり体を丸めたりして顔を伏せる防御姿勢をとり、首から上の大ケガを防ぎます。

農作物技術情報特別号 ツキノワグマ人身被害防止対策（令和7年10月30日発行）

## 1 農作物被害の現状

### (1) 被害金額

- ・ 令和6年度の農作物被害金額は、令和5年度と比較して約1億円減の約4億1千万円。
- ・ 被害金額の約6割（2億4千万円）がニホンジカによる被害です。
- ・ 品目別では、稲（1億3千万円）、果樹（1億1千万円）、野菜（7千7百万円）の順。
- ・ 被害金額は東北地方で最も多い状況であり、適切な対策の徹底による被害防止が必要です。

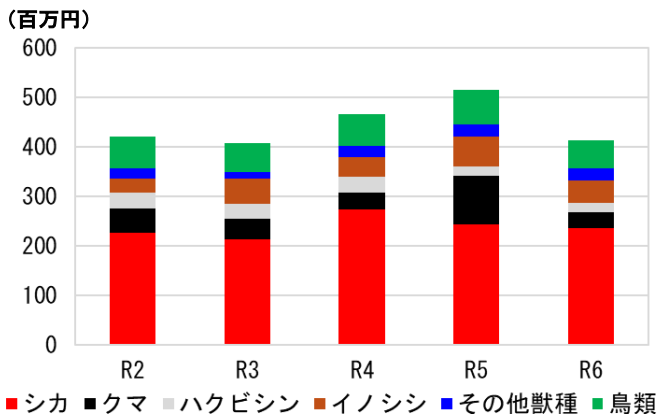


図1 岩手県の農作物被害金額の推移

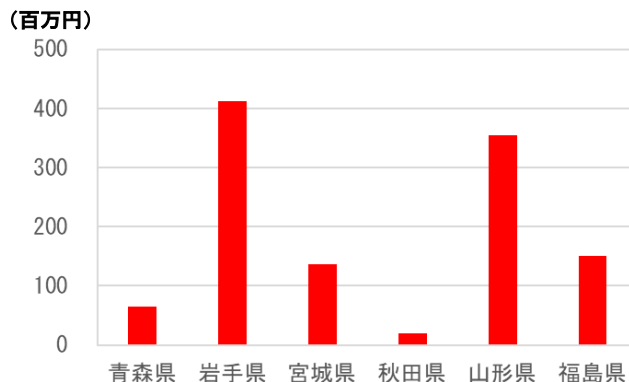


図2 令和6年度東北地方の農作物被害金額

## 2 3つの基本対策

- ・ 農作物の被害対策は、「生息環境管理（よせつけない）」「侵入防止対策（まもる）」「捕獲（とる）」の3つの取組が基本になります。
- ・ エサになる農作物があり、侵入しやすい環境がある限りは、**加害個体をいくら捕獲しても次の個体が侵入し加害する悪循環が続くため、生息環境管理及び侵入防止対策を優先**して取り組みます。

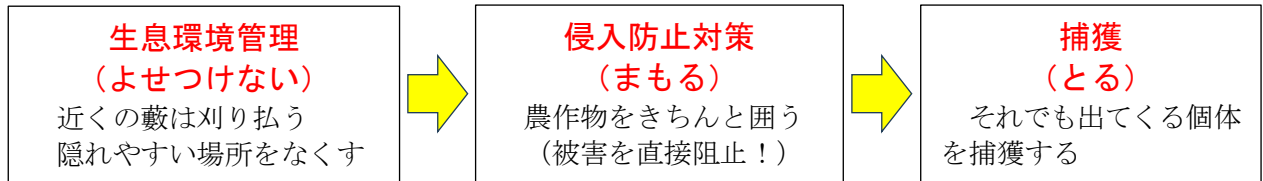


図3 基本対策の流れ

## 3 生息環境管理（よせつけない）

### (1) 藪などの刈り払い

- ・ イノシシやクマなどの野生獣は、本来警戒心が非常に強い動物であり、明るく開けた場所では人間に姿を見せることを避ける習性があります。
- ・ しかし、藪などがある場合はそこに隠れ、田畑・集落に接近し被害をもたらします。
- ・ 昨年、農作物被害を受けたほ場や、被害の発生が懸念されるほ場などは、まずは動物が隠れそうな藪を春のうちに刈り払い、田畑に近づきにくい環境にします。
- ・ 夏に急速に増えるアレチウリ（写真2）も野生獣の隠れ家を作ることにつながる可能性があるため、防除に努めます。



写真1 藪から農地に近づくイノシシ



写真2 夏に急速に伸びるアレチウリ

### (2) 誘引物の除去

- ・ 収穫しないカキ、クリなどの放任果樹は、野生獣のエサとなるだけでなく、人身被害の原因にもつながる危険性があるので、可能であれば春のうちに伐採します。
- ・ また、人間にはゴミとなる残渣なども動物にとってはエサになるため、土中に埋めるなど適切に処分します（写真3）。
- ・ 収穫せずに地面に残されたクリは、冬期間の野生獣のエサになり（写真4）、越冬できる個体数を増やすことにつながるため、可能な限り集めて処分します。



写真3 人間にはゴミでも野生獣には御馳走



写真4 冬にクリを探すイノシシ（1月）

#### 4 侵入防止対策（まもる）

##### （1）電気柵は「心理柵」

- ・ 電気柵は、野生獣が触った時に電気刺激による痛みを学習することで、その後は動物が自ら近寄らないようにする柵であり、「心理柵」とも呼ばれます。
- ・ 野生獣は、初めて電気柵に近づいた際に、ワイヤーなどが安全なものかを鼻先や唇で触って確認する習性があり、この時に、湿った鼻を通して強い電気が流れ、痛みが発生します。
- ・ そのため、最初に野生獣が接近した際に電気ショックを与えることが重要です。
- ・ 一方、通電していない又は電圧が弱いワイヤーに触れることにより、ワイヤーに危険がないと学習した場合は、ワイヤーを鼻で確認することはなく、そのまま柵内への侵入する行動をとります。
- ・ 野生獣の体は毛皮で覆われており電気を通しにくいいため、鼻先や唇で接触させない限りは、十分な電圧があったとしても電気ショックを与えることはできず、侵入を許すことにつながります。



写真5 電気柵に触れて逃げ出すクマ



写真6 電気柵に触れて逃げ出すカモシカ

(2) 電気柵の適切な管理 (チェックポイント)

- ・ 県内では、当初から電気柵が適切に設置されていなかったり、設置後の点検や修繕が行われていないため、十分な効果が発揮できず被害の増加につながっている事例が多く見受けられています。
- ・ 適切な管理を継続するため、以下のチェックポイントで管理状況を確認してみましょう。

野生獣に負けないための 10 のポイント ～ 電気柵編 ～

No	☑	ポイント
1	<input type="checkbox"/>	電圧は 5,000～8000V で通電している。 【不具合の原因と対策】 ・ ワイヤーの作物や雑草などへの接触 → 点検と是正 ・ アース棒の深さや本数不足 → アース棒は触っても電気を感ぜないように ・ パワーユニットの能力不足 → 距離に応じたパワーユニットを使用 ・ 支柱などによる漏電 → きちんと碍子を使いつつ、点検を ・ 電線の結び目などでスパーク発生 → 「パチパチ」と音が聞こえるのは異常
2	<input type="checkbox"/>	24 時間通電している ※ 夜間のみ、収穫期のみなどの通電は、通電していない時間帯に電気柵を安全と学習させるリスクがあるので常時通電させる
3	<input type="checkbox"/>	ワイヤーは、獣種に応じた高さで設置している。
4	<input type="checkbox"/>	ワイヤーを、緊張具を利用しピンと張っている。 ※ ピンと張ることで高さの間隔を保つとともに、野生獣が触れた際にワイヤーが鼻等に圧着しやすくなります。
5	<input type="checkbox"/>	ワイヤーの下から潜り込まれないよう、地面の窪み等を埋めている。
6	<input type="checkbox"/>	計画的に下草の除草を行っている。
7	<input type="checkbox"/>	農作物を植えると同時に、又は植える前から電気柵を設置している。
8	<input type="checkbox"/>	電気柵は定期的に点検している。
9	<input type="checkbox"/>	近くに斜面がある場合、シカなどが飛び越えにくいよう柵の位置を調整している。
10	<input type="checkbox"/>	感電事故防止のために、危険表示板を設置している。

★ 適切に管理されていない電気柵は、電気柵が危険ではないと学習させる可能性があるため早急に対応しましょう！！

## 5 クマ出没状況アプリ「Bears (ベアーズ)」

- ・ 岩手県では、4月からクマの出没情報アプリ「Bears」の運用を開始しています。
- ・ このアプリは、LINE から簡単にクマの目撃情報の投稿、注意喚起の通知を受けることができます。
- ・ 今年も春から既に多くのクマが確認され、人身被害も発生するなど危険な状況が続いていますので、ぜひ御活用ください。

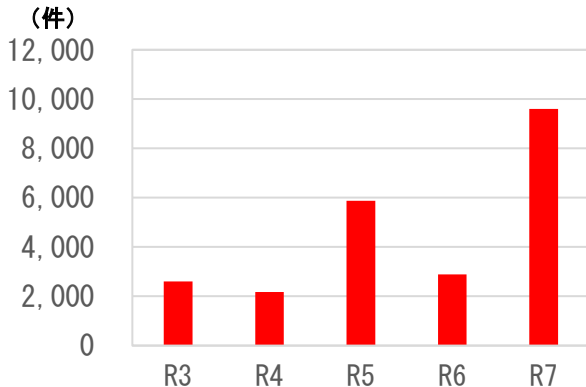


図4 岩手県のクマの出没件数の推移

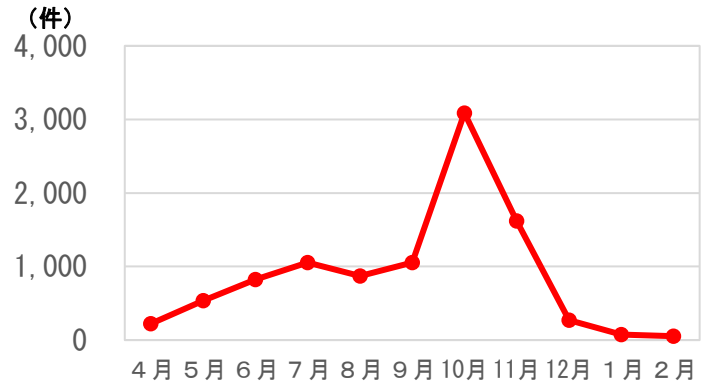


図5 令和7年度岩手県のクマの月別出没件数

※ 図4及び5の令和7年度のデータは、3月10日時点のもの

クマを見たら…投稿しよう!

岩手県全域版  
クマ出没情報アプリ

**Bears (ベアーズ)**  
運用開始!

LINEで  
クマ目撃場所  
を投稿・通知

左記QRから、  
岩手県公式LINE  
を友だち登録

(注) 安全を確保し、投稿して下さい。

岩手県環境生活部 自然保護課野生生物担当 TEL: 019-629-5371

クマ目撃情報を共有  
県公式LINEと連携

**LINEで投稿!**

岩手県公式LINEから簡単に  
クマ目撃情報を投稿できます。

必要項目を記載して、地図  
上にピンを立てるだけで、迅  
速に情報共有できます。

岩手県公式LINEを開いて、  
「防災・震災復興」メニューを  
選択

「クマを見た!」から  
ピンを立てれば投稿完了

**LINEから通知!**

登録した地域でクマが出没  
したら、岩手県公式LINEから  
注意喚起通知が届きます。

周辺地域の出没情報の確認  
や安全確保に活用できます。

岩手県公式LINEから通知

「クマはどこ?」から  
マップで閲覧可

**誰でもカンタン!**

【発行元】  
岩手県環境生活部 自然保護課野生生物担当  
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL: 019-629-5371

こちらの2次元  
バーコードから  
登録できます

## クマに御注意ください！

冬眠明けのクマが里山やまちに出てくる可能性があるため、警戒をお願いします。

### 1 クマに遭遇しないために

- ・ 食べ残し等、エサになるものを放置しない
- ・ 音の鳴るグッズを常に鳴らして存在をアピール

### 2 出会ったときの行動

- ・ 背を向けて走って逃げない
- ・ 目を離さず静かにゆっくり後ずさる

### 3 襲われそうになったら...

- ・ クマが攻撃してきたら両腕で顔や頭をカバーし地面に伏せて防御する

## 春の農作業安全月間 [ 4月15日 ]

「これくらい・・・」少しの油断が事故のもと初心忘れず安全作業

## 岩手県山火事防止運動期間 [ 2月26日 ]

山火事を起こすも防ぐも 私たち

春先は野山が乾燥し、風の強い日が多くなります。

林野火災の多くは人為的な原因で発生していますので、野外での火の取扱いには十分注意しましょう。

次号は5月28日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用ください。

### 熱中症防止

- 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等作業時間の工夫を行うこと。水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を十分に補給すること。気温が著しく高くなりやすいハウス等の施設内での作業中については、特に注意。
- 帽子の着用や、汗を発散しやすい服装をすること。作業場所には日よけを設ける等できるだけ日陰で作業するように努めること。
- 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断するとともに、涼しい環境へ避難し、水分や塩分を補給すること。意識がない場合や自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても良くならない場合は、直ちに病院で手当を受けること。

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。